

茨城県平和委員会 2016 年度定期大会報告

一刻も気を抜けない、今の状況！ どう切り開く！

◆ 質疑・討論を経て、2016 年度の方針と予算が決定！

午前中は、「経過（木村）」「決算・予算（伊達）」「会計監査（椎名）」「情勢・方針（木村）」「百里平和公園の管理（海老沢）」等の報告がありました。

昼食休憩中に、報道ステーション 古舘一郎氏の「緊急事態法とヒトラー」「日本国憲法九条に『戦争放棄』を入れたのは幣原喜重郎」のDVD視聴を行いました。

午後は、報告に対する「質疑・討論（詳細は後日）・採決」、「理事の選出」、「第1回理事会（常任理事の互選、代表理事・事務局長等の選出）等」を行い、2016年度の新体制が決定しました。新年度は事務局次長として海老沢文範さん（内原・友部）が就任しました。

大会アピールを花山楓さん（取手）が読んで提案し、満場の拍手で採択されました。

また、勇退することになった植田金雄代表理事（新年度は「理事」に就任）による、退任挨拶がありました。予定時間に余裕



があったこともあり、岩月事務局次長の感想をいただきました。また「『旧動燃不当差別』事件の支援をお願いします！一原告4人は2015年7月6日、水戸地裁に差別是正の訴えを起こしました」を、原告の一人でもあり、平和委員会の会計監査をひきうけている椎名定さん（東海）が、支援の訴えを行いました。

伊達代表理事（内原・友部）の音頭で、新年度の代表理事、常任理事、事務局長、事務局次長等の役員紹介を行い、最後に堀江代表理事（美和・緒川）の閉会挨拶で終了しました。討論で発言した代議員は20名、参加した役員・代議員・評議員の総数は68名でした。

★★★

のために全力を挙げて安倍政権を退陣に追い込みましょう。そして基地も軍事同盟もない、憲法を正確に生かした、平和な日本の展望を明らかにする、日本平和委員会の一翼を担い、茨城県平和委員会の役割を大いに発揮する、こうした立場でこれから事務局長から運動方針案も提案してもらいます。

運動の前提は、わたくしたちが地域に根差した平和運動を意識的に取り組んでから約半世紀になります。百里基地闘争に端を發し、多彩な活動を通し、多くの成果を上げてまいりました。

全国でも珍しい38の基礎組織で構成されている茨城県平和委員会は地域の人たちの最適となりくみ、これにつきましては会員各人の思いを徹底的に話し合い、交換することでより強固になります。

これから運動の方針案などの提起を受けて、真摯に討議され、「みんなで決めてみんなで実行する」、そのことをモットーに全員で奮闘する決意の一端を申し上げて、大会の挨拶と致します。

（拍手）

茨城県市民連合共同代表 先崎千尋 さんの挨拶



【抄録】

共同代表は13人おりますけれども、それぞれが県内各地のいろいろな集いに手分けしてあいさつやスピーチをしています。本日は私があいさつ申し上げます。

ご承知のように、全国レベルでは昨年12月にSEALDsの若者たちや安全保障関連法に反対する学者の会など5団体が「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」を結成いたしました。私たちの茨城県市民連合はその県版にあたりものであります。

その、わたくしども茨城県市民連合の特徴は、共同代表に二見伸明元公明党副委員長、原中勝元日本医師会長、谷萩陽一前日本弁護士連合会副会長らと共に7人の元市町村長がいることであります。市町村長は、その地域にあって住民のために民主主義を實踐してきた人たちです。私たちも首長は立場や主義主張を超えて、民主主義と憲法を破壊している安倍政権を打倒するべく広く結集しようと考え呼びかけています。

私は憲法九条の改正よりもっと、この緊急事態条項の導入のほうがないのではないかと、という考えを持っております。

今回の舛添問題によって、自民党は参議院選挙で500万票の票を減らしたと伝えられています。その拡大を恐れて舛添を辞任させ、真相究明をせずに幕引きを図ろうとしております。16日の日本経済新聞によりますと、15日の早朝、安倍首相は舛添知事に直接電話を掛け、辞職するようにと伝えたとのこと。舛添は許せないけれども、安倍首相のやり方はもっと許せません。

安倍政権を打倒するために野党共闘、そして選挙に行くように呼びかけることを、私ども市民連合は力強く進めて行こうと考えております。

私たちは、今度の参議院議員選挙で茨城県選挙区では民進党と共産党、比例区ではそれに加えて社民党と生活の党の野党4党を推薦・支持いたします。明後日（6月21日には、午後6時から、水戸駅北口で茨城県民共同アクション～トーク&パレードがあります。そこでお会いしましょう。（拍手）

開会の挨拶

茨城県平和委員会代表理事 水野秧一郎さん



阿見町平和の会に所属しています。水野です。代表理事ということで、簡単に開会の挨拶を申し上げたいと思います。

どうもみなさんおはようございます。早朝より全県からお参加の皆さん、大変ご苦労様です。またお忙しいなか激励のためにおいでいただきましたご来賓の方がた、ありがとうございます。

さてこの1年、茨城県平和委員会は安倍政権の海外で戦争する国づくり、これを打ち破るたたかい、とりわけ戦争法廃止、沖縄米軍新基地建設阻止のたたかいの勝利をめざして全力で取り組んでまいりました。このわたくしたちの活躍が一翼を担う平和勢力を、沖縄県民のたたかい、これの歴史的な発展をとおり、安倍政権の追い詰めて確実にしてきております。

戦争法廃止、立憲主義回復、安倍政権打倒をめざす勢力の勝利

【各平和の会からの発言の抜粋】

【水戸西】 百里基地反対の取り組みが始まって今年で60周年になる。議案では「県平和委員会25周年記念行事を開催する」との提案がなされているが、「百里闘争60周年記念行事」を、地元と相談して計画してほしい。（事務局「積極的に対応する」）

【ひたちなか】 かわら版に会員や地域の平和委員会の動きがもつと見える編集を期待してほしい。（事務局「編集長の思いも全く同じでいつも心がけている。しかし記事集めで困難がある。「400字～600字」程度で多くの記事を提供してほしい。」）

昨年度は「戦争体験の記録」を集約するといったが、実現していない。引き続き取り組むべきだ。（事務局「継続して取り組む。戦後の経験等も含めて考える。記録の提供をお願いしたい。」）

【土浦】 戦争法廃止2000万署名に取り組んだが、尋常な方法では目標の達成は難しい。無差別戸別訪問をやった。地域を区切ってその範囲にある家庭へは残らず訪問をした。門前払いも少しはあったが、ほとんどの家では協力してくれた。新しい運動のスタイルを生み出した。見ず知らずの人との対話も進み、多くの人との共感を得た運動になった。



【下館】 市民の会を結成し、許可を得て地元のスーパーの前で2000万署名を何回も取り組んだ。毎回10人ほどが参加し、そのつど60～100筆集約した。総計で2200筆になる。170人規模のデモ行進も開催した。



【守谷】 自衛隊からの要請に応じた守谷市が、「適齢者名簿」を自衛隊に提出していることがわかったので、6月11日に市役所総務課に申し入れを行った。総務課長は6月1日付けで対象者643人分を紙媒体で自衛隊に提出したという。市長までの決着をしたといい、決済の書類も見せてくれた。「個人情報保護法等に触れないか」と問いただすと「総務省からも文書が出ている。自衛隊施行令もある。法律に基づいた適切な対応だ」といった。

【美和・緒川】 6月議会に「戦争法廃止」の陳情をした。不採択だった。陳情を討議した総務委員会で3人が発言した。公明党の議員は「この法律はすでに国会を通過している。今更このような陳情をして何になるのか」と言う。他の2人は、北朝鮮や中国の鼓動を上げ、このような法律がなければ国は守れないだろう。不採択にすべきだ」と発言し、結果は不採択だった。立憲主義破壊の視点は一切触れられなかった。他の自治体の動きを知りたい。また自衛隊への「適齢者名簿」の提出をやめさせることはできないのか。

【取手】 「戦争法案反対」「戦争法廃止」と両方の請願書が採択されている。前日の6月18日（土）に総がかり行動を市民連合との共催で開催し、200名の参加で成功させました。19日行動を毎月継続して取り組んでおり、今回で9回目になります。2000万署名も11000筆ほど集約しており、6月30日まで取り組む決意です。



【内原・友部】 2000万署名は市内の4団体で取り組んで受け取り人払いの封筒を使って1000筆ほど集約した。市内の2つの高校生に対して配布した。受け取りはよかった。宣伝カーをつかった運動も、団体間で相談しながら取り組んでいる。

桜川市の市民連合では、昨日（18日）市民連合結成の集いが行われた。それを母体として参議院の取り組みが進むのだろうと思う。市単位の市民連合の結成は、県内では初めてだと思う。草の根の運動として取り組みが進むのだろうと思う。

【北茨城】 議会へは「戦争法を慎重に審議してほしい」という趣旨の請願をした。議会の傍聴もした。北朝鮮や中国の動きを言い立てているだけの残念な内容だった。2000万署名では3000

筆以上を集約した。また4月16日に田村先生を呼んで憲法の学習会を開催した。100人も集まった。北茨城平和の会の取り組みを知ってもらおうと思って、会報を市長や議員にも配布した。お願いしたいことは、集会やデモの取り組みに際して、主催者の名称がいつも違っている。目的が同じなら同じ名称にしてもらえないだろうか。参加する側としては名称が変わってしまうと混乱する。何らかの対応してほしい。

【取手】 核兵器廃絶の新しい署名を市内のいくつかの団体と一緒に4人で取り組んだら40筆を集約した。今後も続けて行きたい。取手市が広島・長崎へ「平和大使」として中学生を派遣する取り組みは過去にあった。しかし今はやっていない。再開の申し入れをしたいと思っている。また新聞で見たのだが、「茨城県の中学生の修学旅行の行先に広島が入った」ということが書いてあった。本当かどうか確かめてほしい。

【那珂】 6月11日・12日に日本平和委員会定期大会に参加したが、会員・平和新聞・理論誌の3点で最高を記録しており、盛大な大会だった。茨城と違っているところは、若者と女性の参加が多く、それぞれが積極的に役割を果たしていることだった。安倍首相は戦争する国づくりにまい進しているが、平和委員会は戦争する国づくりの具体化を許さないたたかいが必要だ。「わが町を戦争する国づくりの拠点にさせない」という分科会に参加した。百里基地と横田基地とが連携した、輸送機の訓練やオスプレイの訓練が強化されているという実態が埼玉から報告された。百里基地にオスプレイが来ることも考えられる。茨城には自衛隊の駐屯地は、勝田・古河・土浦・霞が浦と4つあるが、その動きをキチンとつかむことも重要な取り組みだと思う。

【記載できなかった発言については、今後の平和かわら版等で随時紹介します。】

